

A decorative bar chart on the left side of the slide. It features two rows of vertical bars. The top row has 15 bars of varying heights, and the bottom row has 15 bars, also of varying heights. The bars are colored in a gradient from dark blue to light blue. The overall shape of the bars suggests a downward trend from left to right.

# RPA取り組みのご紹介

2020年2月13日

株式会社 B C C

- 1. 会社概要**
- 2. 事例紹介**
- 3. RPA導入時の課題と対策**
- 4. 最後に**


# 1. 会社概要



RKB毎日放送(株)と日本電気(株)の出資により昭和41年10月に福岡で誕生し、以来53年の歴史を重ねてきた福岡地場IT企業です。

これまで培ってきた知識とノウハウを武器に、官公庁・民間企業・医療といった幅広い分野のお客様が抱えている様々なIT問題に対して、コンサルティングからシステムの開発・運用・保守にいたるまでトータルにサポートしています。

令和元年12月末現在

① 社名	株式会社BCC		
② 設立年月日	昭和41年10月25日（1966年）		
③ 代表者氏名	代表取締役社長 田中 功（たなか いさお）		
③ 所在地	<ul style="list-style-type: none"><li>●本社 福岡市中央区六本松2丁目12-19 BCCビル</li><li>●薬院ビル 福岡市中央区薬院4丁目5-17</li><li>●データセンター 福岡市内 及び、国内（複数所有）</li><li>●東京支店 東京都品川区東五反田2丁目20-4 NMF高輪ビル 6階</li><li>●北九州支店 北九州市小倉北区鍛冶町1丁目1-1 北九州東洋ビル 3階</li><li>●佐賀営業所 佐賀市駅前中央1丁目9-45 大樹生命佐賀駅前ビル 7階</li></ul>		
④ 資本金	1億円	⑤ 従業員数	400名（営業職：35名 技術職：315名 事務職：50名）
⑥ 業務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>●システムインテグレーション ●ソフトウェア開発 ●情報ネットワークサービス ●AI・BI</li><li>●セキュリティサービス ●BPOサービス ●クラウドサービス ●システム機器販売</li></ul>		

# 1. 会社概要

弊社は放送事業を核とし、福岡及び九州地域での貢献を目的に総合事業を行うグループ企業体の一員です

**株式会社 B C C**  
システムインテグレーション  
ソフトウェア開発  
クラウド・セキュリティサービス

**株式会社 R K B 映画社**  
TV番組・CM  
PR／記録映画  
Webコンテンツ

**R K B 毎日  
ホールディングス**

**R K B 毎日放送株式会社**  
テレビ・ラジオ番組制作・放送  
イベント&催事実施・他

**R K B ミューズ株式会社**  
イベント運営・人材派遣業  
広告代理店業務  
映像制作業務・他

**R K B 興発株式会社**  
災害&イベントFMシステム  
ビル管理・不動産管理  
不動産仲介・駐車場管理  
太陽光発電・他

## 2. 事例紹介

### ■ 地方自治体向けシナリオ

No	業務	処理	カテゴリ	状況
1	給与計算	例月処理	定例作業	<b>稼働中</b> (福岡県A市 H31.3~)
2	介護認定	認定調査票入力	定例作業	<b>稼働中</b> (長崎県B市 H31.4~)
3	財務会計	歳入情報入力	定例作業	<b>稼働中</b> (福岡県C町 R01.10~)
4	権利登記	所有権移転入力	大量入力作業	<b>稼働中</b> (福岡県D市 R01.10~)

### ■ 企業向けシナリオ

No	業務	処理	カテゴリ	状況
1	勤怠入力	勤怠入力チェック	定例作業	<b>稼働中</b> (E社 総務 H31.04~)

## 2. 事例紹介（自治体向けNo. 1）

給与計算の例月処理に関わる一連の作業に、**RPA**を適用

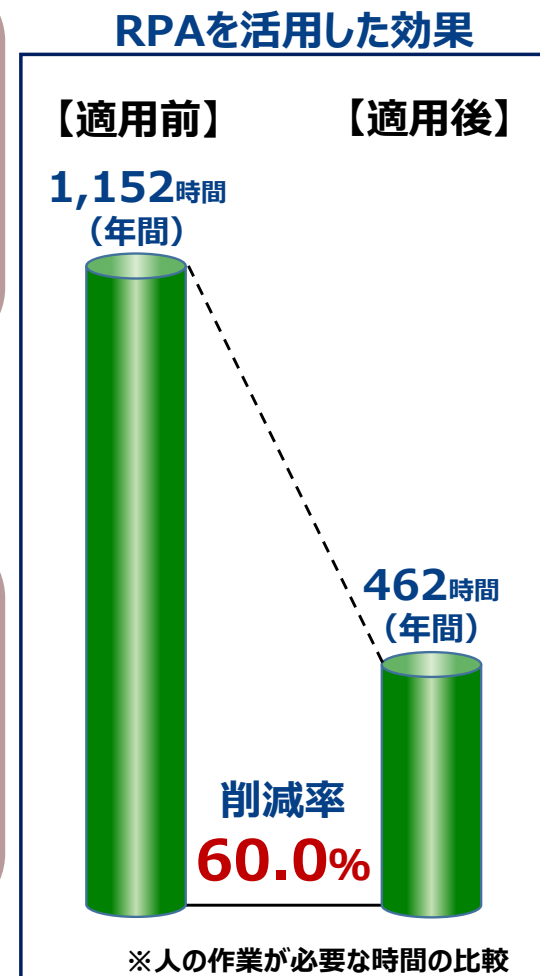
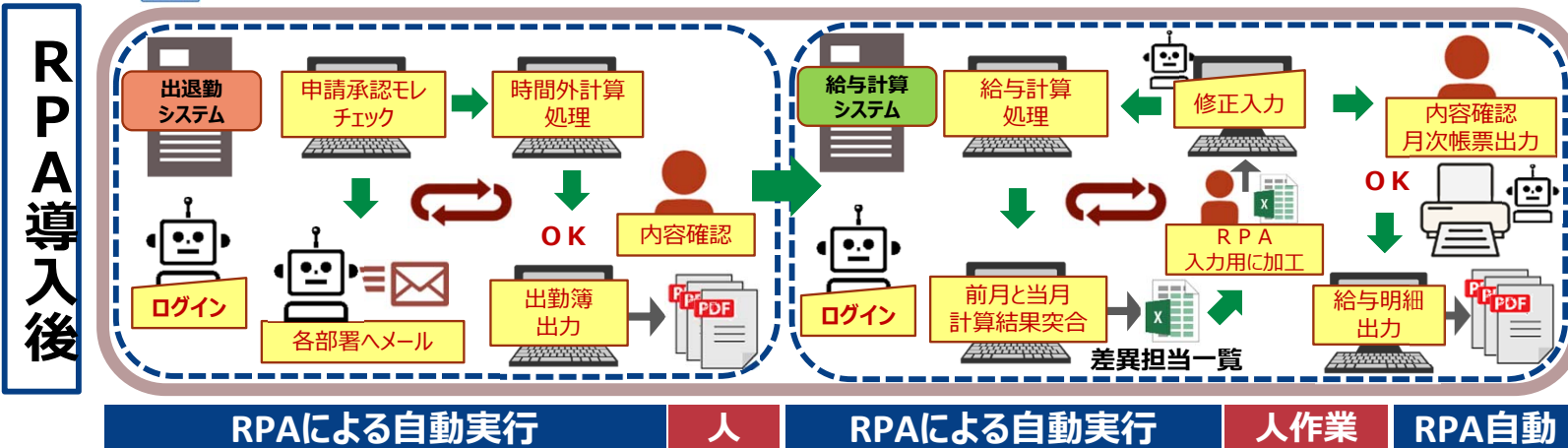
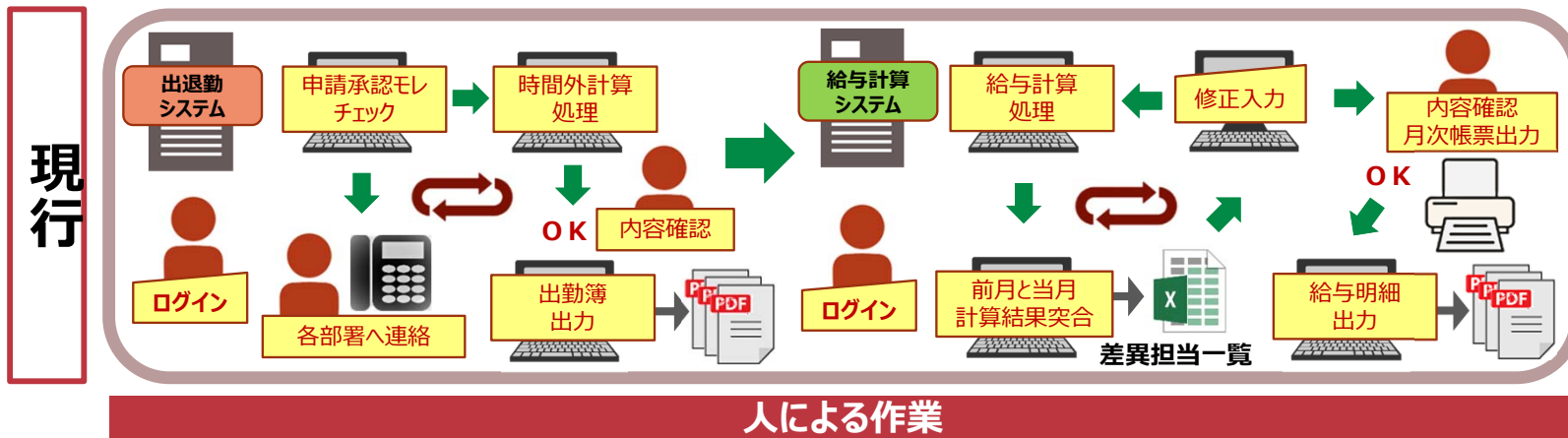
### 課題背景

- 月締め前のチェックや各部署への連絡、対応待ちに多くの時間を費やしていた
- 繁忙期（月末月初）における、担当者の負担となっている

### 成果

- **アラートメールの自動配信**  
月締め前のチェックや各部署への連絡にRPAを適用したことで、担当者の負担が軽減
- **一連の作業をスケジューリング化**  
給与計算に関わる一連の作業（月次処理・帳票配信等）をスケジューリングし、自動化することで処理手順の誤りや漏れを防ぎ、作業時間の短縮ができた

## 2. 事例紹介 (自治体向けNo. 1)



## 2. 事例紹介（自治体向けNo. 2）

### 介護認定調査票の入力作業に、**RPA**を適用

#### 課題背景

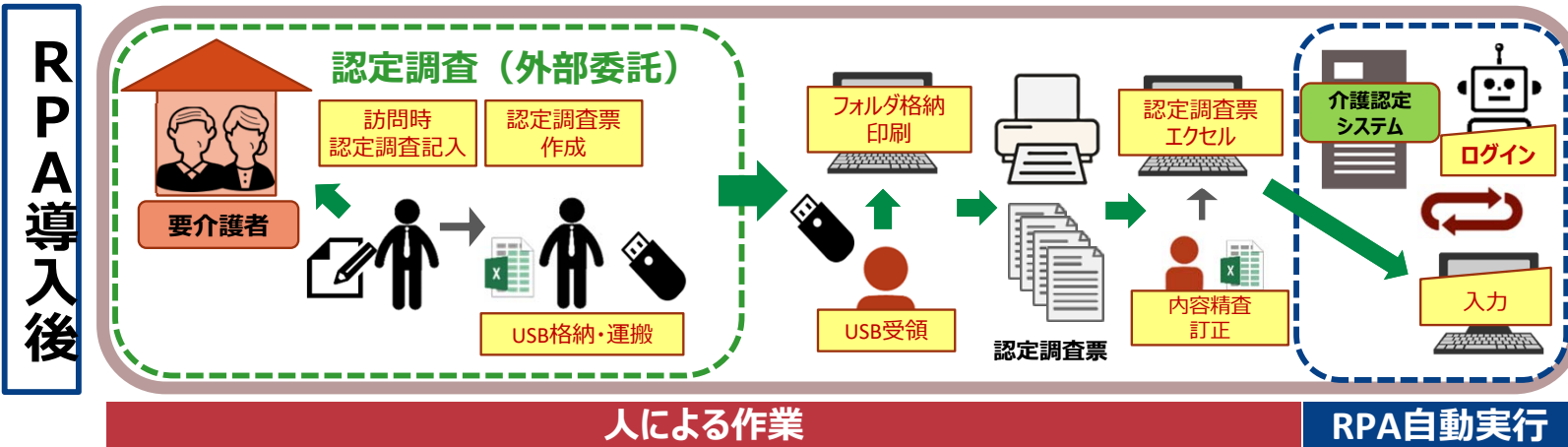
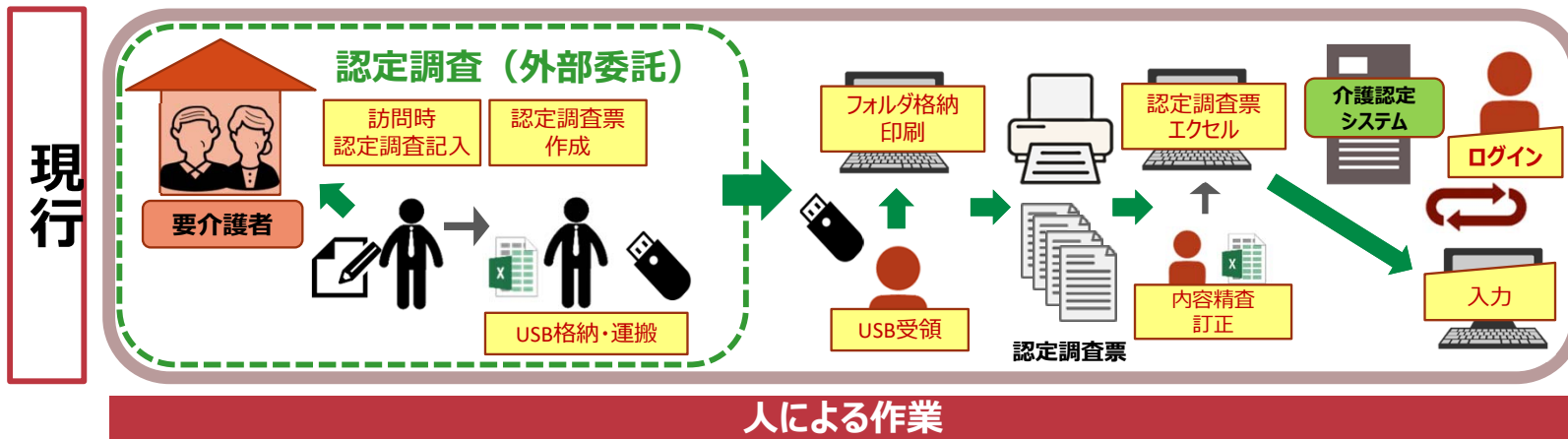
- 年間120件程度だが、1件あたりの項目が200項目以上で、入力に約30分ほど費やす
- 項目が多いため、入力漏れや誤字チェックにおける担当者の負担が大きい

#### 成果

- **介護認定調査票入力のうち、入力作業を自動化**  
入力作業にRPAを適用したことで、入力漏れや誤字がなくなり、担当者の負担が軽減



## 2. 事例紹介（自治体向けNo. 2）



### RPAを活用した効果

【適用前】      【適用後】

84時間  
(年間)



24時間  
(年間)



削減率  
**71.0%**

※人の作業が必要な時間の比較

## 2. 事例紹介（自治体向けNo.3）

### 歳入情報の入力作業に、**RPA**を適用

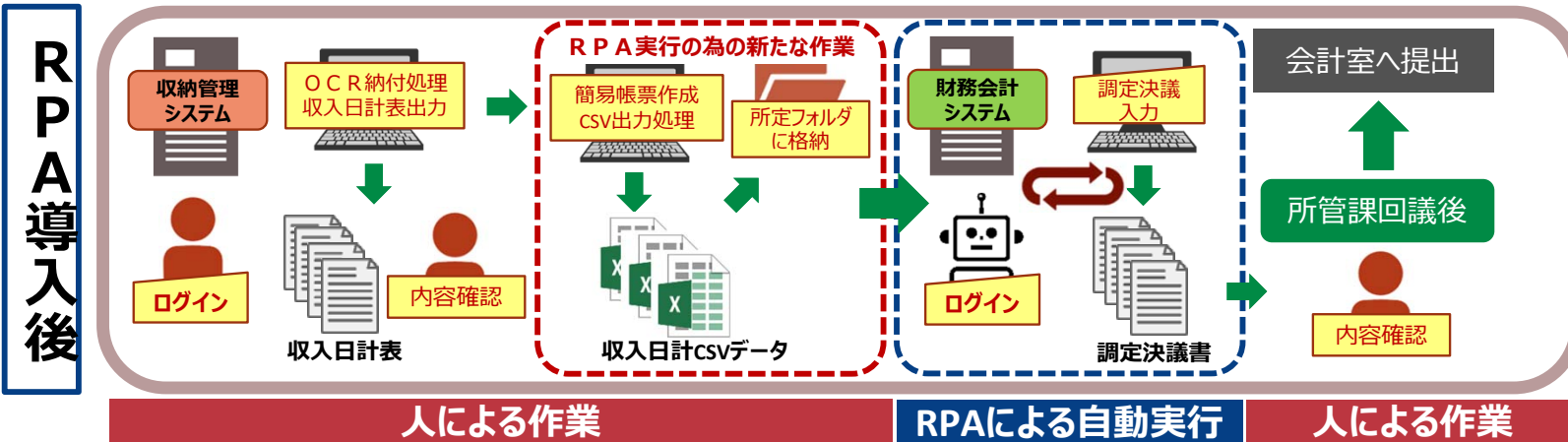
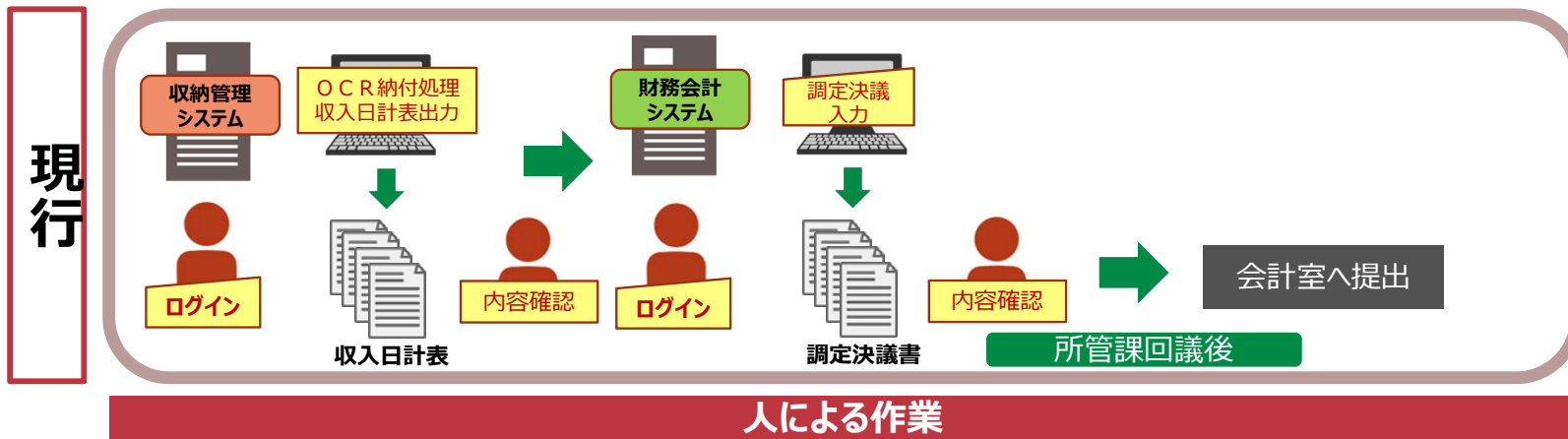
#### 課題背景

- 日々の入力件数は多くないが、財務システムへの歳入情報の入力が煩雑なため、担当者の負担が大きい
- 業務の担当者が歳入情報の入力を日々行っている  
(対象業務：住民税、軽自動車税、法人住民税、国民健康保険税、固定資産税、受益者負担金、後期高齢者医療保険料、子ども子育て利用料、住宅家賃利用料、たばこ税、交付金)

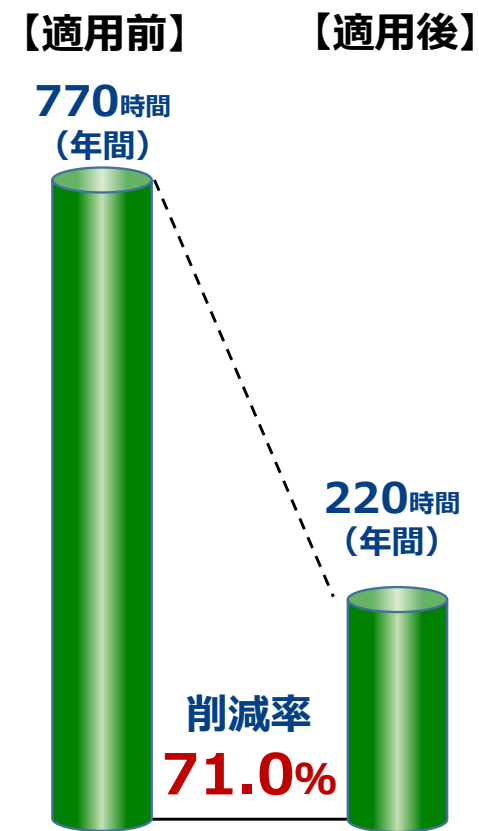
#### 成果

- 歳入情報入力作業のうち、入力作業を自動化  
入力作業にRPAを適用したことで、担当者の負担が軽減

## 2. 事例紹介 (自治体向けNo.3)



### RPAを活用した効果



※人の作業が必要な時間の比較

## 2. 事例紹介（自治体向けNo. 4）

### 権利登記（所有権移転[単独]）の入力作業に、**RPA**を適用

#### 課題背景

- 年間約80,000件以上と入力件数が多く、権利登記における担当者の負担が大きい

#### 成果

- **所有権移転[単独]の入力作業を自動化**

権利登記のうち、全体の43%を占める所有者移転[単独]の入力作業にRPAを適用したことで、入力における担当者の負担が軽減

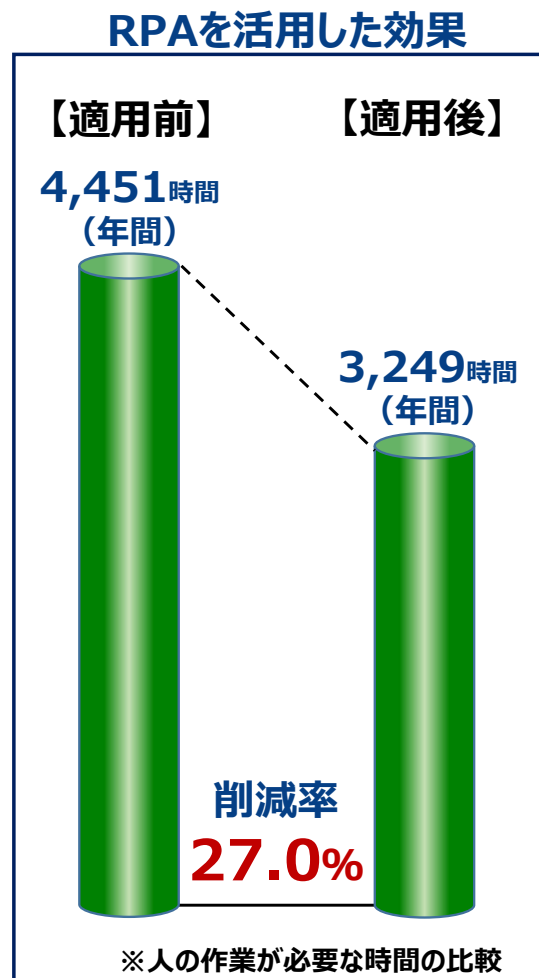
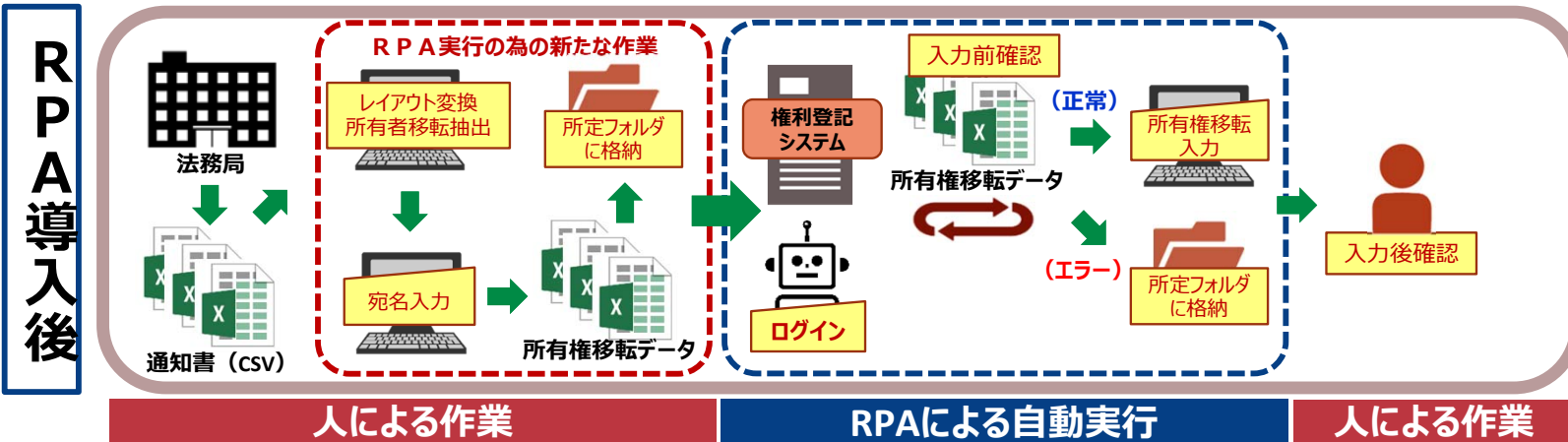
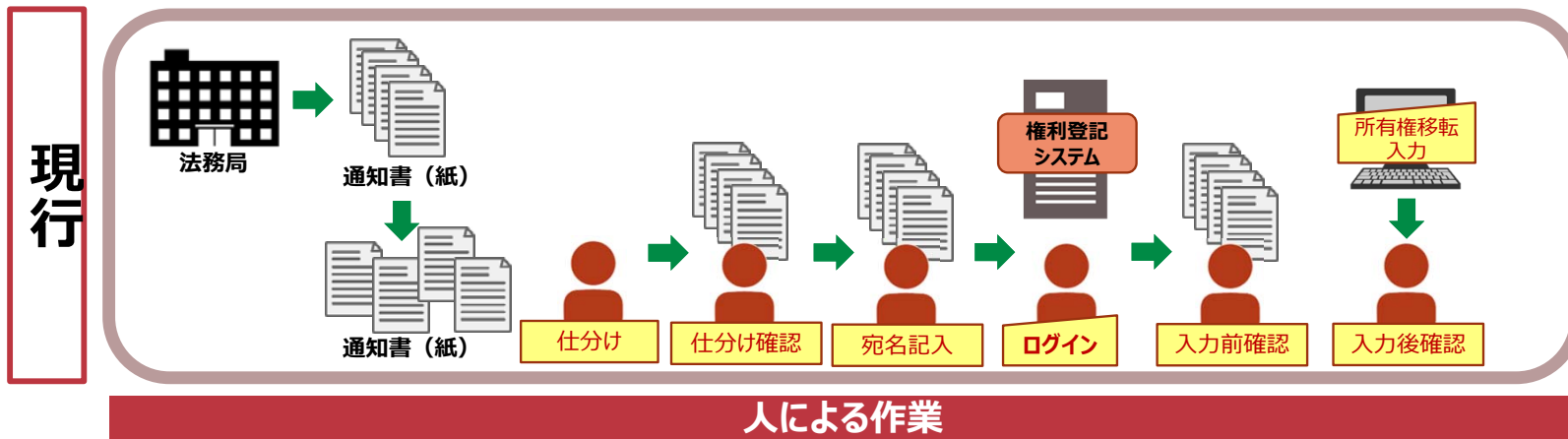
- **定型的なプロセスを改善**

法務局から受領するデータを紙データからCSVデータとしたことで、ツールによる仕分けが可能となり、担当者による仕分け・チェックが不要となった結果、担当者の負担が軽減

- **他の権利登記への転用可能**

今回の成果を受け、所有者移転[単独以外]・登記名義人表示変更においても、削減が期待できる

## 2. 事例紹介 (自治体向けNo. 4)



### タイムリーな勤怠情報の見える化に、**RPA**を適用

#### 課題背景

- 従業員の勤怠入力ที่ไม่十分で残業時間の実態が把握できない
- 残業時間や勤怠入力のチェックが頻繁に行えず、月数回の実施

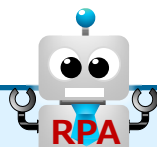
#### 成果

- **メールを自動送付**

勤怠未入力者へ入力を促すメールを自動送付することで、残業時間の適正な把握ができた  
従業員には日々勤怠入力の意識が高まった

## 2. 事例紹介（企業向けNo. 1）

### RPAによる自動化対象



毎日22時に  
ロボットが  
自動起動



①ワークフロー  
（WEBブラウザ）  
へ自動ログインし、  
勤怠入力情報を取得



②CSV出力



③CSVから  
3日以上勤怠が  
未入力の従業員  
を抽出  
（マクロ利用）



④対象従業員へ  
メールを送付



従業員



⑤未入力結果を  
総務担当へ送付



総務

月3回の実施が、  
ロボットにより**日次の実施が可能**

↓  
チェック回数が増えることで、  
**未入力者も減った**

### RPAを活用した効果

【適用前】

120時間  
（年間）



【適用後】

12時間  
（年間）



削減率  
**90.0%**

※人の作業が必要な時間の比較

## 3. RPA導入時の課題と対策



**(課題) 導入効果が高い業務の見極め <担当者だけでは、業務選定は難しい>**

**(対策)**

- ➔ 業務スキルを有するSEから、導入効果が見込まれる業務（作業）を提案
- ➔ 提案した業務（作業）について、担当者と作業の流れを確認
- ➔ もっとも導入効果が高いと見込まれる業務（作業）を選定



## 3. RPA導入時の課題と対策



**(課題) 業務プロセスの可視化 <業務の現状を知ることが重要>**

**(対策)**

➔ **業務の棚卸**

- ・単純と思っていた作業に時間がかかっている
- ・類似する作業が何度も発生
- ・このタイミングでの作業の必要性 等

➔ **「気づき」をもとに業務フローの見直し**

- ・人にしかできない作業、RPAでもできる作業
- ・多くの担当者が関わる業務は、業務フローの統一化

## 3. RPA導入時の課題と対策



**(課題) シナリオ作成ができない<現業が多忙、ある程度の知識が必要>**

**(対策)**

➡ **弊社によるシナリオ作成**

- ・SEが作成するため、プロセスの内容を熟知
- ・税制改正や法改正の内容を事前に把握しているため、スムーズな対応

**(課題) シナリオが煩雑になりやすい**

**(対策)**

➡ **シナリオをサブルーチン化**

- ・他のシナリオへの流用が可能
- ・少ないステップ数で、シナリオを見やすく

# 3. RPA導入時の課題と対策



**(課題) テストの誤りや漏れを防ぐ**

**(対策)**

- ➔ RPAの場合、短期での運用開始を目的とすることが多い
  - ・SE主導によるテストケースの作成
  - ・テストケースをもとにテストデータを担当者と作成

### 3. RPA導入時の課題と対策



**(課題) 環境差異から発生するリスク<PC環境、画面解像度、業務システムURL等>**

**(対策)**

- ➔ **実際の運用PCでの最終確認は必須**
- ➔ **ユーザIDの申請**
  - ・セキュリティ、なりすまし防止の観点から、RPAをひとりの担当者と捉え、業務システムへのログインは、申請したユーザIDで行う

## 3. RPA導入時の課題と対策



### (課題) 運用開始後の想定外エラー

#### (対策)

#### ↳ RPA専用PCでの運用

- ・RPA運用PCの画面解像度を変更したり、実行中にマウスを触ると画面の項目を正しく認識出来なくなり、処理が止まってしまう

今回のご紹介は、主に「**NEC Software Robot Solution (ロボソル)**」を使用した事例紹介ですが、他のRPAツールにおいても、同じような課題が想定されます。

- 1. 業務の変化に対する不安を払拭**
- 2. 野良ロボ等、稼働後の対策**
- 3. シナリオの他への適用は困難**



